

(独)国際協力機構(JICA)研修員の視察受入について

千葉県水産総合研究センターでは、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの依頼を受け、平成22年8月12日に研修を行いました。

当研修は、漁業コミュニティ開発計画としてJICAが、「日本の漁業・漁村振興の経験を踏まえて、自国の漁業コミュニティの活性化のために事業企画運営と組織作りの知識や技術を習得すること」を目的に行われており、研修生の皆さんは研修コースに関連して、自国の問題の分析、日本の事例の研究、自国の振興策の検討をされるようになっており、今年度は11名の様々な国からの研修員が当センターを訪れました。

当日は、当センターから事業の概要、資源管理に関わる技術開発についての説明を行い、これに対する活発な質問が各国の研究者から行われました。

当研修は7月12日から9月29日まで行われ、期間の後半では日本での研修体験を元にしたアクションプランの作成も行うとのことです。

今回の当センターでの研修が、各研修員の自国における漁業コミュニティ開発において有益なものとなることを期待します。

